

親も子も心の教育を

いきいき子育て講座

子育てやしつけなど、家庭での教育を見つめ直す機会になればと4月22日、聖マーガレット幼稚園でいきいき子育て講座が開催されました。遊戯研究家の三宅邦夫さんを講師に迎え、心の教育をテーマにした講演が行われたこの講座。三宅さんは、合唱や新聞紙を使った遊びを交えながら、親子が一緒に遊び、語り合うことの大切さを呼び掛けていました。幼稚園児を持つ保護者の一人は「家庭での心の教育の大切さが分かりました」と講演に耳を傾けていました。



きれいに咲きました

中部小学校FBC花壇(中日賞を受賞)

中部小学校では、学校での花壇作りを通して自然を愛する心を育てようと、愛知県などの主催で毎年行われるフラワー・フラボー・コンクール(FBC)に応募しています。今年は、全校児童の応募の中から選ばれた気球をかたどったデザインで花を植え、春花壇の部に出品。4月21日には4種類のパンジーがきれいに咲きそろいました。花壇の世話をした児童の一人は「水の量を考えたり、雑草を抜いたりして一生懸命に育てました」と笑顔で話していました。



仲間と料理を楽しむ

勤労青少年ホーム教養講座

勤労青少年ホームでは、仲間との交流を広げようと、陶芸や生け花など10種類の講座が行われています。その中の一つとして、料理講座が4月22日に始まりました。講師に栄養士の篠澤亜樺子(あきこ)さんを迎え、10人の受講生はタケノコやウドなど、春の素材を使った5種類の献立に挑戦。仲間と声を掛けながら、楽しそうに調理を進めていました。参加した20代の女性の一人は「いろいろな家庭料理が学べて役に立ちます」と煮物づくりに取り組んでいました。



育児は互いに協力して

両親学級

初めてパパやママになる夫婦を対象にした両親学級が4月25日、保健センターで開催されました。これは、夫婦が協力して育児できるようになり、子育てへの不安を解消できればと、年に5回開催されるもの。参加した6組の夫婦は、助産師の指導により、慣れない手つきながらも、一生懸命もく浴や着替えの仕方などを実習しました。7月に父親になる受講者は「育児は二人で協力することが大切なんです」と子どもが生まれるのを待ちわびている様子でした。



みんなが楽しめる会に

あおば子ども会設立総会

4月に25番目の行政区として誕生した三好丘あおばでは4月26日、町内で22番目となる子ども会「あおば子ども会」の設立総会を三好丘小学校で行いました。はじめに会員116人の中から会長に選ばれた宮本拓哉くんが「みんなが楽しめる会になるように、楽しい企画をしていきます」と抱負を元気に発表。続いて久野知英町長は「会ができて最初の年ですが、ほかの子ども会の見本となるよう張り切って活動し、今後につなげてください」と激励しました。



みんなで子育てを楽しもう

三好丘緑行政区「おやこひろば」

三好丘緑行政区の未就園児とその母親が中心となり、子育てを楽しむながら仲間づくりをするサークル「おやこひろば」。4月23日には、その活動の一つとして、ボランティアグループ「つくしの会」を招いて人形劇の鑑賞を高嶺公民館で行いました。これは、親子がふれ合う場を提供しようと年2回開催されているもの。子どもたちは三匹の子豚の話に、夢中になって歓声を上げていました。母親の一人は「子どもと一緒に楽しめるのがいいです」と話していました。

